施設名	J：COMホール八王子（市民会館）

視点	評価項目			NO.	6月 所管課評価	6月 所管課コメント	6月 指定管理者自己評価（コメント）	9月 所管課評価	9月 所管課コメント	9月 指定管理者自己評価（コメント）	12月 所管課評価	12月 所管課コメント	12月 指定管理者自己評価（コメント）	3月（年間） 期末評価	3月（年間） 所管課コメント	3月（年間） 指定管理者自己評価（コメント）
施設の管理・運営を安定して行うことができるか	定量的	スキルアップ研修　3回／年	スタッフに対する接遇・安全・人権問題・苦情等の基本研修を行う。	1	－	スキルアップ研修としてではないが、受付窓口担当を対象に客席や楽屋、舞台裏について学ぶ研修を行い、サービスの向上を図った。	第一四半期での実績なし	－	年度末の数値をもって評価する。	7/8 清掃インスペクション（1名参加） 8/26 清掃インスペクション管理者研修（1名参加） 9/6 コンプライアンス・個人情報保護研修（13名参加）	－	外部講師を招いて接遇研修を行った。実施にあたり、ホールの特性を踏まえた内容となるよう、事前に講師と入念に打合せを行った。	11/18 マナー接遇研修（12名参加） 11/18 サービス介助セミナー研修（14名参加）	A	目標を120％以上の数値で達成した。ACPC(コンサートプロモーターズ協会)による専門的な研修を受講するなど、施設の安定的な管理に向けスキル向上に努めている。	**【年間8回実施した】** （第四四半期実績） 2/6 清掃スキルアップ研修（12名参加） 3/12 舞台技術講座（1名参加） 3/26 ACPCカスタマーハラスメント対策セミナー（1名参加）
		甲種防火管理者、職長・安全衛生責任者教育修了者、第3級陸上特殊無線技士、上級救命技能認定者、サービス介助士、防災介助士、舞台機構調整技能士など、各資格取得者の適正配置をするとともに新規取得に努める。		2	B		事業計画書に沿って、適正に有資格者を配置している。	B		事業計画書に沿って、適正に有資格者を配置している。 9/15,24 上級救命講習（2名再取得） 9/27 サービス介助士（1名新規取得）	B		事業計画書に沿って、適正に有資格者を配置している。 10/5,11/25 上級救命講習（1名再取得、1名新規取得） 10/9,10/18 サービス介助士（2名新規取得）	B	各種資格保有者を適切に配置するとともに上級救命講習や防火防災管理者など、新規の資格取得にも努めている。	**【年間を通して有資格者を適切に配置し、資格の新規取得に努めた】** （第四四半期実績） 1/16,3/9 上級救命講習（2名新規取得） 2/17 防火防災管理講習（1名新規取得） 3/4 防災介助士（1名更新）
	定性的	団体の経営方針が明確であり、きちんとした経理がされていること	管理業務の実施に係る固有の銀行口座を開設しているか【確認資料例：銀行口座】	3	B		管理業務の実施に関わる固有の銀行口座を開設しており、継続して使用している。	B		管理業務の実施に関わる固有の銀行口座を開設しており、継続して使用している。	B		管理業務の実施に関わる固有の銀行口座を開設しており、継続して使用している。	B		【管理業務の実施に関わる固有の銀行口座を開設しており、継続して使用した】
			資金の適正な管理と経理内容の明確化が図られているか　【確認資料例：独立した会計帳簿】	4	B		ホールの経理システムを使用し、効率化、明確化を図っている。	B		ホールの経理システムを使用し、効率化、明確化を図っている。	B		ホールの経理システムを使用し、効率化、明確化を図っている。	B		【年間を通してホールの経理システムを使用し、効率化、明確化を図った】
			利用料金、使用料の徴収は適正に行われているか　【確認資料例：独立した会計帳簿・日報、月報・使用料等収納（徴収）事務委託契約書・銀行口座】	5	B		適正に行っている。	B		適正に行っている。	B		適正に行っている。	B		**【年間を通して利用料金の徴収を適切に行った】** 第四四半期も適正に行っている。
		収支計画が適正であること	収支計画が適正に執行されているか　【確認資料例：事業計画書（収支計画）・事業報告書】	6	B		市の所管課との定例会議で月次報告書の提出及び利用状況、予算の執行状況等の報告を行っている。	B		市の所管課との定例会議で月次報告書の提出及び利用状況、予算の執行状況等の報告を行っている。	B		市の所管課との定例会議で月次報告書の提出及び利用状況、予算の執行状況等の報告を行っている。	B		**【年間を通して収支計画に沿って適正に執行した】** 市の所管課との定例会議で月次報告書の提出及び利用状況、予算の執行状況等の報告を行っている。
		管理運営がきちんとできる職員体制や研修体制がとれていること	業務を実施するにあたり、適切な人員配置や育成がなされているか【確認資料例：事業計画書（人員配置計画）・事業報告書・研修報告書・実地調査】	7	B		各館技術担当者をメンバーに「ホール会議」を月1回WEB会議で行っている。事故情報や運営の問題点等、常に最新の情報を共有し、J:COMホール八王子の管理運営に活かしている。	B		各館技術担当者をメンバーに「ホール会議」を月1回WEB会議で行っている。事故情報や運営の問題点等、常に最新の情報を共有し、J:COMホール八王子の管理運営に活かしている。	B		各館技術担当者をメンバーに「ホール会議」を月1回WEB会議で行っている。事故情報や運営の問題点等、常に最新の情報を共有し、J:COMホール八王子の管理運営に活かしている。	B	「ホール会議」での情報共有を通じて、施設運営の改善につなげている。指定管理者の特性を活かした取組であり、評価できる。	**【年間を通して適切な人員配置や育成を行った】** 各館技術担当者をメンバーに「ホール会議」を月1回WEB会議で行っている。事故情報や運営の問題点等、常に最新の情報を共有し、J:COMホール八王子の管理運営に活かしている。
			給与の支出が適切に行われているか　【確認資料例：給与規程・賃金台帳】	8	B		適切に行っている。	B		適切に行っている。	B		適切に行っている。	B		**【年間を通して給与の支出を適切に行った】** 第四四半期も適切に行っている。
		施設の管理運営を安定して行う能力を有しているか	事業者の経営状況が健全な状態であるか　【確認資料例：財務諸表・財務評価表】	9	B		健全な状態となっている。	B		健全な状態となっている。	B		健全な状態となっている。	B		**【年間を通して健全な経営状態を維持した】** 第四四半期も健全な状態となっている。
			業務の一括委託が行われていないか　【確認資料例：第三者への一部事務委託に関する承諾書・事業報告書・実地調査・会計帳簿】	10	B		適切に実施している。 第三者への一部業務委託については、市と協議し承諾を得ている。	B		適切に実施している。	B		適切に実施している。	B		**【年間を通して施設の管理運営を適切に実施した】** 第四四半期も適切に実施している。
施設の運営において公共性、公平性、公正性が図られているか	定量的	開館日数　350日／年	年末年始休館日（令和6年12月29日～令和7年1月3日）及びササザンスカイタワー八王子全館休館日を除く全日開館する。	11	－	年度末の数値をもって評価する。	第一四半期　91日	－		第二四半期　92日 （累計：183日）	－		第三四半期　89日 （累計：272日）	B	昨年度の実績を上回り、目標を達成したものの、期末評価を A とする基準に満たないため、B 評価とする。	**【開館日数実数：年間359日】** （第四四半期）87日
		設備点検　26回／年 （設備12回、舞台設備10回、消防設備2回、高所作業1回、ITV設備1回）	設備は電気・空調等維持管理業務、舞台設備は舞台機構・照明設備・音響設備点検業務を年間計画を立て実施する。	12	－	年度末の数値をもって評価する。	第一四半期　7回 【設備3回、舞台設備3回（舞台2回、照明1回）、消防設備1回】	－		第二四半期　7回 【設備3回、舞台設備3回（舞台2回、音響1回）、ITV設備1回】 累計：14回	－		第三四半期　6回 【設備3回、舞台設備2回（舞台1回、照明1回）、高所作業1回】 累計：20回	B	予定していた回数、各種点検を実施し、目標を達成した。	**【設備点検実績：年間26回】** （第四四半期）　6回 【設備3回、舞台設備2回（舞台1回、音響1回）、消防設備1回】
		ピアノ等備品点検　12回／年 （ピアノ　保守点検2回、定期調律10回）	ホール備品の中で、ピアノは特に細心の注意を払って性能・品質の維持に努める。	13	－	年度末の数値をもって評価する。	第一四半期　3回 （調律1回、点検2回） 試弾7回	－		第二四半期　3回　累計：6回 （調律3回） 試弾5回	－		第三四半期　3回　累計：9回 （調律3回） 試弾4回	B	予定していた回数、点検、調律を実施し、目標を達成した。	**【ピアノ等備品点検実績：年間12回実施した。さらにピアノの品質保持のため試弾を年間23回行った】** （第四四半期実績）3回　（調律3回） 試弾7回 うち1回ではプロによる試弾を3月に行った。 ホールの響きやピアノの音色について高い評価をいただいた。
	定性的	利用者が公平に施設利用ができるよう、配慮されていること	開館日数、開館時間は守られていたか【確認資料例：条例、規則・日報、月報・事業報告書】	14	B		第一四半期は開館日数、開館時間ともに計画通り実施した。	B		第二四半期は開館日数、開館時間ともに計画通り実施した。	B		第三四半期は開館日数、開館時間ともに計画通り実施した。	B		**【年間を通して計画通り実施した】** 第四四半期も開館日数、開館時間ともに計画通り実施した。
			減免の申請手続がなされた場合、適正に処理されているか（※該当の場合）【確認資料：減免申請書・減免申請に係る帳簿】	15	－		第一四半期での実績なし	－		第二四半期での実績なし	－		第三四半期での実績なし	－	該当する案件が無かったため、評価なし。	**【減免申請：年間を通して申請はなかった】** （第四四半期での実績なし）

令和6年度モニタリングシート【J:COMホール八王子】

視点	評価項目			NO.	6月 所管課評価	6月 所管課コメント	6月 指定管理者自己評価（コメント）	9月 所管課評価	9月 所管課コメント	9月 指定管理者自己評価（コメント）	12月 所管課評価	12月 所管課コメント	12月 指定管理者自己評価（コメント）	3月（年間） 期末評価	3月（年間） 所管課コメント	3月（年間） 指定管理者自己評価（コメント）
施設の運営において公共性、公平性、公正性が図られているか	定性的	施設の公共性、公平性について継続性が保たれているか	文書の管理・保存が適切に行われているか【確認資料例：ファイル基準表（なければそれに準ずるもの）・実地調査】	16	B		ファイル基準書を作成し、継続的に文書の管理・保存に努めている。	B		ファイル基準書を作成し、継続的に文書の管理・保存に努めている。	B		ファイル基準書を作成し、継続的に文書の管理・保存に努めている。	B		**【年間を通して文書の管理・保存に努めた】** 第四四半期もファイル基準書を作成し、継続的に文書の管理・保存に努めている。 開館した平成23年度から平成28年度までの保存期間の経過した古い文書について、利用申込書、打ち合わせ資料等、法的・修繕以外の日常文書類をシュレッダーにより適切に廃棄した。
			修繕等、施設保全が適切に行われているか【確認資料例：事業報告書・実地調査】	17	A	通常の清掃や点検では手入れが行き届かない個所について調査し、状況を把握した。清掃が不十分な個所について、定期的に漏れなく対応するための対策を講じる予定である。施設を熟知した指定管理者がノウハウを活かして積極的に取り組んでおり、また機器の負荷軽減にもつながるため評価する。	館内及び屋上に設置されているガラリ(吸込み口・吹出し口)の調査を実施した。汚れが著しく、定期的な清掃が必要と判断される箇所について、清掃することで空調負荷の削減に繋がるため、今後の維持管理業務計画に追加を検討している。（計画追加時期は未定） 今後予定されるLED化に向け、管球調達計画を策定し、市担当部署と共有していく。(令和9年度LED更新と仮定) 舞台機構、照明、音響機器についても市担当部署と密に連携し、工事内容の優先度の確認や複数年度にわたる工事のスケジュール調整など、計画的に修繕・施設保全を行っている。	A	サザンスカイタワー八王子管理組合が行う工事であっても、工事予定個所の事前確認を必ず現場で行うようにしており、工事個所の漏れを防いでいる。積極的に取り組んでおり、評価したい。	4階ロビー特定管理部分のLED化工事の対象範囲について、防災センターに確認をしたところ、ホール事務室ロビー側扉前（廊下6）が、対象範囲から漏れていることが判明したため、防災センターと調整しLED化を完了させることができた。 舞台機構、照明、音響機器についても市担当部署と密に連携し、市の発注工事との仕分けや、複数年度にわたる工事スケジュールの業者間調整を行う等、計画的に修繕・施設保全を行っている。	A	廊下やトイレなどのビニール床面のワックスは、7年前に材質にあった種類に変更し、その後、美観を維持し続けている。施設の材質やワックスの特性を熟知し、丁寧にメンテナンスし続けている効果が表れている。再塗布は、今後の汚れ具合を見て行うこととなるが、延命が図られている。ノウハウを活かした取組を積極的に評価したい。	予防保全を推進するため、実施可能な修繕計画を追加作成した。4階のLED照明への更新工事を中心に2～3月に実施予定。 建物引き渡しから7年目の2017年3月、4～8階のビニール床面のワックスを全て剥離し、別のワックスへの切り換えを実施した。それから更に7年経過したことから今年度11月の定期清掃時、ビニール床の状況の確認を業者へ依頼したところ、再度ワックス剥離作業の必要なしとの回答、日常清掃における建物の美観の長期維持が確認された。 市発注の工事として、音響調整卓および録音用ミキサー更新工事を年末年始の休館日を利用して行った。（常時ホールスタッフ1名立会い）	A	指定管理者のノウハウを活かし、施設の保全が適切に行われており、積極的に評価したい。 更新した音響調整卓に不具合が発生したが、的確な対応により利用者に影響が生じなかった。	【年間を通して修繕等、施設保全を適切に行った】 市のLED化推進の方針に沿って、4階のホワイエと楽屋まわり諸室についてLED照明への更新工事を実施した。 また、トイレ床(材質:石)が著しく汚れていたため、定期清掃委託先と打ち合わせを行った。薬剤を変更することで改善可能か、4月以降に範囲を限定して調査を計画している。 市発注の工事として、年末年始の休館日を利用して行った音響調整卓および録音用ミキサー更新工事について、1～3月に亘って致命的な不具合が立て続けに発生したが、市の担当部署と連携して対処したことで、利用者に影響はなかった。
			備品の管理が適切に行われているか　【確認資料例：備品台帳・実地調査】	18	B		日常業務の中で、適切に管理している。 4/5,6/4 ティンパニー5台定期メンテナンス実施	B		日常業務の中で、適切に管理している。 市からの依頼を受け、備品台帳と現品との照合を行い、経年劣化により更新の必要がある備品を報告した。	B	ティンパニーは、利用の前にメンテナンスを実施し、よい状態で使用してもらえるように気を配っている。	日常業務の中で、適切に管理している。 11/12 ティンパニー5台定期メンテナンス実施 12/4 舞台・音響・照明の進行用通信システム（インターカム）子機2台購入（経年劣化した備品の更新）	B	備品の状況を把握し、計画的に更新している。	【年間を通して備品の管理を適切に行った】 （第四四半期実績） 1/6 舞台・音響・照明の進行用通信システム（インターカム）子機8台購入（経年劣化した備品の更新） 1/7 ティンパニー5台定期メンテナンス実施 1/20 アルミパネルパーテーション3連セット購入（経年劣化した備品の更新）
施設のサービス向上、利用者の増加等を図る方策が図られているか	定量的	利用者数　30万人／年	施設来場者数の増加を図る。	19	－	年度末の数値をもって評価する。	94,564人	－		84,495人 （累計：179,059人）	－		78,310人 （累計：257,369人）	B	昨年度の実績を上回り、目標を達成したものの、期末評価をＡとする基準に満たないため、Ｂ評価とする。	**【利用者数：年間330,339人】** （第四四半期実績）72,970人
		時間延長利用件数 100件／年	市民サービス・興行利用等への対応	20	－	年度末の数値をもって評価する。	28件	－		23件 （累計：51件）	－	第1、2四半期の利用件数が少なかったため、第3四半期は倍増したように見えるが、例年並みの実績である。	46件 （累計：97件）	A	目標の120%以上の数値で達成したことから、Ａ評価とする。	**【時間延長利用件数：年間130件】** （第四四半期実績）33件
		興行系公演の誘致活動 30件／年	鑑賞機会の提供と市民の興味を喚起する。	21	－	年度末の数値をもって評価する。	9件	－		9件 （累計：18件）	－		6件 （累計：24件）	B	目標を達成したものの、期末評価をＡとする基準に満たないため、Ｂ評価とする。	**【興行系公演の誘致実績：年間30件】** （第四四半期実績）6件
		舞台人件発注件数 （ワンストップサービス） 20件／年	ワンストップサービス～サービス窓口の一元化による利用者の利便性の向上を図り、催し物の内容に応じて特に専門性の高い舞台人件等の利用者要望に対応する。	22	－	年度末の数値をもって評価する。	7件	－		6件 （累計：13件）	－		7件 （累計：20件）	A	目標の120%以上の数値で達成したことから、Ａ評価とする。	**【ワンストップサービス対応件数：年間33件】** （第四四半期実績）13件
		ホームページアクセス件数 30万件／年	八王子市民会館に適した特徴のあるホームページとするとともに、効果的な運営を行う。	23	－	年度末の数値をもって評価する。	74,659件	－		59,947件 （累計：134,606件）	－		53,853件 （累計：188,459件）	B		**【ホームページアクセス件数：年間250,696件】** （第四四半期実績）62,237件
		利用者満足度　90%／年	施設利用者の満足度の向上を図る。	24	－	年度末の数値をもって評価する。 無回答が2枚あったため100%には至らなかった。	96.2%	－		97.4% （累計：96.7%）	－		100.0% （累計：98.1%）	A	年間を通じて高い利用者満足度を維持し続けたことを評価したい。	**【利用者満足度：年間98.5%】** **※利用者アンケート201枚回収中198枚満足（2枚無回答）** （第四四半期実績）100.0%
		指定管理者が行う自主事業の参加者満足度　80%／年		25	－		第一四半期での実施なし	－	年度末の数値をもって評価する。無回答が影響し、満足の割合が低下した。	8/19 SEASON'Sコンサートvol.10：83.3% 8/19 化石を探そう！？：63.3% 8/27 第11回避難訓練体験コンサート：66.5% （累計：67.9%）	－	バックステージツアーのアンケートは無回答が多かった。次回以降はアンケートの実施方法を見直す予定である。	11/29 響き渡るワタシvol.16：100.0% 12/24 SEASON'Sコンサートvol.11：90.0% 12/24 J:COMホール八王子 バックステージ：68.9% （累計：73.4%）	B	目標を達成したものの、期末評価をＡとする基準に満たないため、Ｂ評価とする。 「化石を探そう」のアンケートは、同時開催したSEASON'Sコンサートのアンケートと併せて行ったため、無回答が多い結果となった。	**【来場者満足度：年間85.8%】** （第四四半期実績） 1/14 SEASON'Sコンサートvol.12：89.6% 1/14　化石を探そう！？：37.5% 2/16 第13回吹奏楽の響演“響き渡る”：97.8%
		指定管理者が行う参加型事業への参加者数　1,500名／年		26	－		第一四半期での実施なし	－	年度末の数値をもって評価する。避難訓練体験コンサートの参加者数はもう少し増やしたいとの報告があった。	8/19 SEASON'Sコンサートvol.10＆化石を探そう！？：86名 8/27 第11回避難訓練体験コンサート：272名 （累計：358名）	－		11/29 響き渡るワタシvol.16：20名 12/24 SEASON'Sコンサートvol.11＆J:COMホール八王子 バックステージ：127名 （累計：505名）	A	目標の120%以上の数値で達成したことから、Ａ評価とする。	**【自主事業への参加者数：年間2,079名】** （第四四半期実績） 1/14 SEASON'Sコンサートvol.12＆化石を探そう！？：62名 2/16 第13回吹奏楽の響演“響き渡る”：1,512名
	定性的	利用者からの苦情処理の体制がとれていること	利用者等からの相談及び苦情に適切に対応しているか【確認資料例：相談、苦情をまとめた整理帳簿】	27	B	施設の管理運営に対する要望ではないが、適切に対応していた。	ホール演奏会にご来場のお客様より、「客席の座席間隔が狭い、各世代ヘリサーチして設計すべき、この2点を設計者へ伝えてほしい」とのご意見をいただいた。いただいたご意見は八王子市へお伝えさせていただくことをご説明した。	－		第二四半期では利用者等からの相談、苦情は無かった。	－		第三四半期では利用者等からの相談、苦情は無かった。	B		**【年間を通して利用者からの苦情、相談に適切に対応した】** 第四四半期ではホールご利用検討中のお客様からの電話において、「利用した場合にかかる費用を聞いているのに対応が悪い」との苦情があった。 公演内容によって付帯料金等は大きく変わってくるため、一概にはお答えできない旨をご説明した。
施設の運営において効率的な管理・運営が図られているか、経費の節減が図られているか	定量的	利用料金収入　125,960千円／年		28	－	年度末の数値をもって評価する。 第一四半期は、ほぼ前年並みであったとの報告があった。	37,928千円	－		34,854千円 （累計：72,782千円）	－		35,732千円 （累計：108,514千円）	B	目標を達成したものの、期末評価をＡとする基準に満たないため、Ｂ評価とする。	**【利用料金収入実績：　139,575千円】** （第四四半期実績）　31,061千円

令和6年度モニタリングシート【J:COMホール八王子】

視点	評価項目			NO.	6月 所管課評価	6月 所管課コメント	6月 指定管理者自己評価（コメント）	9月 所管課評価	9月 所管課コメント	9月 指定管理者自己評価（コメント）	12月 所管課評価	12月 所管課コメント	12月 指定管理者自己評価（コメント）	3月（年間） 期末評価	3月（年間） 所管課コメント	3月（年間） 指定管理者自己評価（コメント）
事業の達成目標が明確で、具体的な事業計画に基づいて事業が行われているか	定量的	地域連携事業　10件／年	地域活動や地域産業と連動したイベントなどへの協力	29	－	年度末の数値をもって評価する。	1件 町内会の清掃活動	－		6件 市内中学校の職場体験の受け入れ(4件)、町内会の清掃活動、市内花火大会への協賛	－		4件 市内中学校の職場体験の受け入れ、町内会の清掃活動、日本工学院八王子専門学校卒業ライブ体験授業受入れ、八王子いちょう祭りへの協賛	A	目標の120%以上の数値で達成したことから、A評価とする。	**【地域連携事業件数：年間13件】** （第四四半期実績） 2件 市内中学校の職場体験の受け入れ、八王子夢街道駅伝競走大会への協賛
		チケット販売割合 45%／年　（販売枚数を全体の取り扱い枚数で除して算出する）	（公財）八王子市学園都市文化ふれあい財団へのチケット販売協力	30	－	年度末の数値をもって評価する。	64.8%	－		59.4% （累計：61.3%）	－		73.3% （累計：65.9%）	A	目標の120%以上の数値で達成したことから、A評価とする。	**【チケット販売割合実績：年間63.4%】** （第四四半期実績）52.7%
		市民優先枠利用団体 60団体／年	八王子の市民団体に優先的に利用してもらえるよう抽選会に市民枠を設定	31	－	年度末の数値をもって評価する。	18団体	－		12団体 （累計：30団体）	－		23団体 （累計：53団体）	B	目標を達成したものの、期末評価をAとする基準に満たないため、B評価とする。	**【市民優先枠利用団体：年間70団体】** （第四四半期実績）17団体
		市民利用（一般利用） 70%／年	市民利用増加の方策を講じる。	32	－	年度末の数値をもって評価する。	67.9%	－		80.3% （累計：73.8%）	－		83.1% （累計：77.0%）	B	目標を達成したものの、期末評価をAとする基準に満たないため、B評価とする。 芸術文化会館の休館の影響もあり、市民利用が約40件増加した。	**【市民利用（一般利用）率：年間79.2%】** **※ホール利用318件うち252件が市民利用** （第四四半期実績）86.7%
		鑑賞事業への来場割合 70%／年 （来場者数を使用座席数で除して算出する）	鑑賞機会の提供と市民の興味を喚起する。	33	－	年度末の数値をもって評価する。	83.3%	－		75.1% （累計：79.5%）	－		75.0% （累計：78.0%）	B	目標を達成したものの、期末評価をAとする基準に満たないため、B評価とする。	**【鑑賞事業利用率：年間77.3%】** **※のべ座席数142,400席うち110,125名が来場** （第四四半期実績）75.5%
		施設の日数利用率 90%／年	八王子市民会館利用の誘致・拡大を図る運営を行う。	34	－	年度末の数値をもって評価する。	98.8%	－		90.0% （累計：94.4%）	－		98.8% （累計：95.9%）	A	昨年度の実績を上回るとともに、年間を通じて高い利用率を維持し、目標を達成した。積極的に評価したい。	**【施設の稼働率：年間96.7%】** **※利用可能日307日うち297日利用** （第四四半期実績）100.0%
事業の達成目標が明確で、具体的な事業計画に基づいて事業が行われているか	定性的	本市の文化芸術振興に向けた管理運営がされていること	「八王子市文化芸術振興条例」及び「八王子市文化芸術ビジョン」に基づき、本市の文化芸術振興に向けた管理・運営が行われているか 【ヒアリング等で確認】	35	B		昨年度に引き続き、自主事業として「J:COMホール八王子で化石を探そう!?」や「避難訓練体験コンサート」の8月開催に向けて準備を進めている。 「J:COMホール八王子で化石を探そう!?」は、集客を増やすため「SEASON'Sコンサート」と同日開催を予定。今後は会館スタッフも化石について簡単な説明ができるよう、コニカミノルタサイエンスドームの科学指導員からレクチャーを受けることを予定している。	A	夏休み期間中であることを考慮し、自主事業を子どもでも参加しやすい内容とした。「化石を探そう」では、こども科学館と連携したほか、ビュッフェのドリンク券を発行して、より多くの参加を促すなど、工夫しながら取り組んでいる。	8/19のSEASON'Sコンサートvol.10の来場者を対象に、「J:COMホール八王子で化石を探そう!?」を開催した。ホワイエの壁や床に含まれる化石へ興味を促すために、子ども向けのワークシートを配布。ホワイエで化石を探しワークシートの問題を解いた回答者には、ビュッフェのドリンク券をお渡しする企画を行った。「コニカミノルタサイエンスドーム」の科学指導員からレクチャーを受けた会館スタッフが参加者へ化石の解説を行い好評だった。	A	ポスター展は恒例の催しだが、展示数を増やしてほしいとの声が聞かれるなど、好評を得ている。 舞台上での楽器演奏体験の「響き渡るワタシ」は、毎回実施方法を工夫しており、今回は持込の楽器の演奏も可とし、参加者の幅を広げた。また、2施設で行うことで響きの違いを感じてもらったほか、参加者が固定化しないような配慮もしており、積極的に評価したい。	10/1～10/13に南口総合事務所でサイン入りポスター展を行い、約150名にご来場いただいた。鑑賞事業への関心を高めるとともに、ホールの周知を図ることができた。 11/29には学園都市センターと合同で「響き渡るワタシvol.16」を開催。学園都市センターとJ:COMホールの2館を巡ってもらい、各館の響きの特性を体感していただいた。また、今回は持込楽器も演奏可能としたことで、より幅広い方に演奏する機会を提供することができた。参加者からは「雰囲気が全く違う2館なので、同じ曲でも違う出来に聴こえるので面白い」と好評だった。 12/24にはSEASON'Sコンサートvol.11の来場者を対象に、「J:COMホール八王子 バックステージ」を開催。楽屋等を自由に見学していただいた。	A	自主事業は、実施方法を工夫して改善を図っている。本市の文化芸術の振興につながる取組であり、評価したい。	**【年間を通して文化芸術振興に向けた管理運営を行った】** （第四四半期実績） 1/14のSEASON'Sコンサートvol.12の来場者を対象に、「J:COMホール八王子で化石を探そう!?」を開催した。 2/16には「第13回吹奏楽の響演“響き渡る”」を開催。チケットは発売から一週間ほどで完売し、当日は1,512名にご来場いただいた。アンケートでは「演奏はもちろん、最後の先生4人の話や合唱もあってよかったです」と好評だった。多くの方から次回開催の期待を寄せるコメントをいただき、“響き渡る”を毎年楽しみにしてくださっている方がいることが感じられた。
			（公財）八王子市学園都市文化ふれあい財団（以下「財団」という。）と連携し、市民が文化芸術に触れる機会を創出しているか 【ヒアリング等で確認】	36	B	自主事業の実施にあたり、財団の担当者と現場レベルでのつながりを実感していると報告があった。今後、広報や事業実施においてそれぞれの強みを活かした取組を期待したい。	昨年度に引き続き、学園都市センターと共同開催で自主事業「響き渡るワ・タ・シ」の実施を予定。より幅広い方に演奏の機会を提供できるよう、内容についても検討している。 また、今年度も「SEASON'Sコンサート（ロビーコンサート）」を年3回の実施を予定している。	A	ロビーコンサートでの選曲や楽器演奏体験の実施など、財団との連携により内容が充実した。また、財団主催事業のチケットを活用してアンケートの回収率を高める取組は、財団の発案を取り入れたものである。連携が進んでおり、評価できる。	8/19に「SEASON'Sコンサートvol.10（ロビーコンサート）」を実施した。昨年8月に開催した時と同様に、夏休みワクワクキッズコンサートと銘打ち、子供向けの曲目も織り交ぜながら演奏いただいた。終演後には、出演者の方々の指導の下、実際に楽器を演奏してみる貴重な体験の場を提供した。 また、8/27の第11回避難訓練体験コンサートでは、アンケート回答者の中から抽選で10組20名様を財団主催事業である12/1「マリコとオペラ！」公演へ招待するプレゼント企画を実施し回収率アップを図った。	A	SEASON'Sコンサートは通常ロビーで行うが、今回は舞台上と客席で開催した。ホールが空いていたため、これを活用しようと財団が発案し実現した。普段はできない舞台上で演奏を聞く機会を提供するとともに、舞台上と客席で音の聞き比べを行うなど、財団のノウハウと市民会館の特性を活かした取組であり、積極的に評価したい。	12/24に「SEASON'Sコンサートvol.11 X' mas「on STAGE」コンサート」を開催。今回はロビーコンサートではなく、ホールを開放して実施。ソプラノ歌手とピアニストをお呼びし、クリスマスらしい楽曲を披露していただいた。また、舞台上と客席でそれぞれ鑑賞していただく聴き比べも行った。 2月に開催予定の自主事業「“響き渡る”吹奏楽の響演」では、昨年に引き続き財団にチケット販売の協力をいただき、南大沢文化会館、学園都市センターの窓口でも販売を行い、購入者の利便性向上を図った。	A	芸術文化会館や南大沢文化会館、（公財）八王子市学園都市文化ふれあい財団 芸術文化振興課と連携して、事業をより良いものにしようと取り組んでいる。市民が身近に文化芸術に触れる機会を創出しており、評価したい。	**【年間を通して財団と連携し、市民が文化芸術に触れる機会を創出した】** （第四四半期実績） 1/14に「SEASON'Sコンサートvol.12　初春コンサート（ロビーコンサート）」を実施した。アンケートでは「尺八を目の前で演奏するコンサートは初めてです。すばらしい和の世界を目のあたりにして感激です」と新春らしい和楽器の演奏、唄が好評だった。
		資源の有効活用など環境に配慮した管理運営がされていること	「環境にやさしい八王子市役所エコアクションプラン」及び「八王子市役所環境マネジメントシステム」に基づく、環境に配慮した管理・運営が行われているか 【ヒアリング等で確認】	37	A	ビル管理組合が行う照明のLED化工事により不要となる管球を引き取り、施設で活用することにした。施設の機器に精通し、またビル管理組合と顔の見える関係を築いているからこその取組であり、積極的に評価したい。	4階特定管理部分LED更新工事決定を受け、廃棄される管球の再利用計画を防災側と調整。ホール側が9月に取外し保管することとなった。(75本) また、引き続きごみの分別は徹底して行い、利用者が排出したごみについても分別を依頼して資源化を図っている。裏紙として使用可能である紙は、専用の棚を設け再利用している。会議で使う資料は必要最低限にし、枚数が多いものは1部作成して、必要なら回覧するようにしている。 環境への配慮として、職員はマイカップ・マイボトル等の活用も心掛けている。	A	サザンスカイタワー八王子管理組合から、不要となった照明の管球を69本もらい受け、市民会館のホワイエなどで活用することとなった。施設の機器に精通している指定管理者の特性を活かした取組であり、評価できる。	ビル管理組合が行う4階ロビー特定管理部分のLED化工事時に、取外し後廃棄予定だった管球75本中69本をホール側で譲り受け保管することができた。今後有効活用していく。 また、環境マネジメントシステムの取組は全職員に浸透しており、指定管理事業における環境に配慮した取組を日常的に当たり前のこととして行っている。引き続きごみの分別は徹底して行い、利用者が排出したごみについても分別を依頼して資源化を図っている。裏紙として使用可能である紙は専用の棚を設け再利用。会議で使う資料は必要最低限の部数を用意し、必要なら回覧している。環境への配慮として、職員はマイカップ・マイボトル等の活用も心掛けている。	A	廊下やトイレなどのビニール床面のワックスは、7年前に材質にあった種類に変更し、その後、美観を維持し続けている。施設の材質やワックスの特性を熟知し、丁寧にメンテナンスを続けることで、ワックスの更新を先延ばしすることができ、ワックス材の廃棄物削減にもつながっている。施設の美観維持が、環境配慮にもつながっており評価できる。	2017年、ビニール床の使用ワックスの変更により、床材の長寿命が図られ、床材の更新時期を先延ばしすることができた。その結果、産廃の削減につながった。 また、環境マネジメントシステムの取組は全職員に浸透しており、指定管理事業における環境に配慮した取組を日常的に当たり前のこととして行っている。引き続きごみの分別は徹底して行い、利用者が排出したごみについても分別を依頼して資源化を図っている。裏紙として使用可能である紙は専用の棚を設け再利用。会議で使う資料は必要最低限の部数を用意し、必要なら回覧している。環境への配慮として、職員はマイカップ・マイボトル等の活用も心掛けている。	A	年間を通じて、環境に配慮した施設の管理運営を行っている。指定管理者の強みを活かした様々な工夫がみられ、積極的に評価したい。	**【年間を通して環境に配慮した施設の管理運営を行った】** （第四四半期実績） 中性能フィルター洗浄対応による再利用率94.9%、廃棄物の削減が図られた。 また、環境マネジメントシステムの取組は全職員に浸透しており、指定管理事業における環境に配慮した取組を日常的に当たり前のこととして行っている。引き続きごみの分別は徹底して行い、利用者が排出したごみについても分別を依頼して資源化を図っている。裏紙として使用可能である紙は専用の棚を設け再利用。会議で使う資料は必要最低限の部数を用意し、必要なら回覧している。環境への配慮として、職員はマイカップ・マイボトル等の活用も心掛けている。
			エネルギーの使用削減施策は実施しているか 【ヒアリング・資料等で確認】	38	B	光熱水費は、今のところ予算の範囲内で収まる見込みであるとの報告があった。	空調と照明は貸館の状況に応じて手動で細かく操作し、不要な箇所は切り、無駄なく稼働させている。楽屋通路、各楽屋内の窓に設置されているロールスクリーンは半分まで下げ、空調の効果を高めている。	B		空調と照明は貸館の状況に応じて手動で細かく操作し、不要な箇所は切り、無駄なく稼働させている。 5階・7階ホワイエでは、天候にあわせてロールスクリーンを操作し省エネへ対応している。楽屋通路、各楽屋内でもロールスクリーンを半分まで下げ、空調の効果を高めている。	B		今年度中のLED更新計画を提案し、2月以降に実施を予定。 また、空調と照明は貸館の状況に応じて手動で細かく操作し、不要な箇所は切り、無駄なく稼働させている。 5階・7階ホワイエでは、天候にあわせてロールスクリーンを操作し省エネへ対応している。	B		【年間を通してエネルギーの使用削減施策を実施した】 （第四四半期実績） LED更新を行った結果、今回のLED化範囲内で電気使用率48.4%の削減が図られた。 また、空調と照明は貸館の状況に応じて手動で細かく操作し、不要な箇所は切り、無駄なく稼働させている。

令和6年度モニタリングシート【J:COMホール八王子】

視点	評価項目			NO.	6月 所管課評価	6月 所管課コメント	6月 指定管理者自己評価（コメント）	9月 所管課評価	9月 所管課コメント	9月 指定管理者自己評価（コメント）	12月 所管課評価	12月 所管課コメント	12月 指定管理者自己評価（コメント）	3月（年間） 期末評価	3月（年間） 所管課コメント	3月（年間） 指定管理者自己評価（コメント）
個人情報保護管理及び危機管理が図られているか	定量的	防災訓練　4回／年 （総合訓練1回、部分訓練2回、緊急連絡網テスト1回）	ホールを安心してご利用いただけるよう、緊急時に備えた訓練を行う。	39	－		第一四半期での実施なし	－	年度末の数値をもって評価する。	8/20 サザンスカイタワー八王子防災訓練参加（部分訓練） 8/27 避難訓練体験コンサートの実施（総合訓練）	－		第三四半期での実施なし	B	目標を達成したものの、期末評価を入とする基準に満たないため、Ｂ評価とする。	**【防災訓練回数：年間4回】** （第四四半期実績） 2/17 サザンスカイタワー八王子防災訓練参加（部分訓練） 3/21　共立本社を含む緊急連絡網のテスト
		危機管理・安全管理関連研修　　2回／年	ホールを安心してご利用いただけるよう、研修を行い、危機管理意識を高める。	40	－	年度末の数値をもって評価する。 目標に位置付けている研修は、8月の避難訓練体験コンサートと、9月に予定している舞台安全研修の2回である。	4/24 防災図上研修(14名参加) 4/24 不審者対応・連携訓練(23名参加) 6/10 公共建築物日常点検等研修会(1名参加) 6/10 ハロゲン消火設備・舞台スプリンクラー動作説明会(8名参加)	－	日本舞台技術安全協会の講師を務める指定管理者の本部スタッフが講師を担っている。今回はリスクマネジメントをテーマに研修を行った。	9/6 舞台安全研修(12名参加)	－		11/1 エレベータ（EV）・エスカレータ（ES）緊急停止時救出訓練（6名参加）	A	目標の120%以上の数値で達成したことから、Ａ評価とする。 トイレの流れっぱなしなど、施設の不具合を清掃スタッフが最初に発見するケースが多いことから、不具合に対する初動対応を学ぶ研修を行った。	【危機管理・安全管理関連研修回数：年間7回】 2/17 清掃スタッフ一次対応研修（10名参加）
	定性的	個人情報の取り扱いが適切であること	個人情報の適切な管理のため必要な措置が講じられているか 【確認資料例：マニュアル・事業計画書（事業計画）・事業報告書】	41	B		情報の徹底管理を継続して実施した。市や事業体各社から提供される情報を全職員で共有し、意識の向上に努めている。また、各パソコンにパスワードを設定、個人情報が記載された書類は鍵をかけて保管（鍵は館長が保管）している。さらに、事務所内の関係者以外の無断入室を禁止している。	B		引き続き、情報の徹底管理を継続して実施した。市や事業体各社から提供される情報を全職員で共有し、意識の向上に努めている。また、各パソコンにパスワードを設定、個人情報が記載された書類は鍵をかけて保管(鍵は館長が保管）している。さらに、事務所内の関係者以外の無断入室を禁止している。	B		引き続き、情報の徹底管理を継続して実施した。市や事業体各社から提供される情報を全職員で共有し、意識の向上に努めている。また、各パソコンにパスワードを設定、個人情報が記載された書類は鍵をかけて保管(鍵は館長が保管）している。さらに、事務所内の関係者以外の無断入室を禁止している。	B		**【年間を通して個人情報の適切な管理に努めた】** 情報の徹底管理を継続して実施した。市や事業体各社から提供される情報を全職員で共有し、意識の向上に努めている。また、各パソコンにパスワードを設定、個人情報が記載された書類は鍵をかけて保管（鍵は館長が保管）している。さらに、事務所内の関係者以外の無断入室を禁止している。
		緊急（防火・防犯等）対応等危機管理体制が取られていること	指定管理者が加入しなければならない保険に加入しているか 【確認資料例：保険証券】	42	B		本年度も各種保険に加入した。 第一四半期での保険適用の案件は発生しなかった。	B		第二四半期での保険適用の案件は発生しなかった。	B		第三四半期での保険適用の案件は発生しなかった。	B		第四四半期での保険適用の案件は発生しなかった。
			事故や災害発生時の緊急時の対応が適正に行われたか。また、適正に行えるよう体制が整っているか 【確認資料例：マニュアル・事業計画書（事業計画）・事業報告書】	43	A	不審者対応の訓練は、八王子警察署警備課と連携して行い、より実効性の高い内容となったと報告があった。また、避難訓練体験コンサートについてもより効果的なものとするべく、前年度の実績を踏まえた内容で準備を進めており、積極的に評価したい。	日頃より災害時の誘導・避難がスムーズにできるよう、部署間ミーティングを適宜開催し体制を整えている。 4/24の不審者対応・連携訓練では、八王子警察署にご協力いただき、不審者が窓口に来た際の窓口対応や110通報のシュミレーションなどを行い指導をしていただいた。 また、8月開催予定の自主事業「避難訓練体験コンサート」に向けて、今年度も引き続き東北工業大学及び早稲田大学の各研究室と連携しながら、より実践的・効果的な誘導員の配置について検討していく。また新たに八王子防火防災協会の協力でホワイエ及び1階広場での展示・体験コーナーも充実させる予定。広報施策の1つとして英語表記のポスターも作成する。消防関係者を含め、より多くのお客様に来場いただき実践的な訓練を目指す。 コロナ感染者数増加のため、外気取入れ量を調整した。	A	避難訓練体験コンサートでは、新たにホワイエで体験コーナーを設けるなど、事業効果を高めるよう工夫していた。また、雨天により実施できなかったが、避難後、屋外で消火器や煙体験を行えるように準備していた。 関係機関と連携し、積極的に危機管理意識を高めており、評価できる。	地域停電発生(7/22-24,8/19)、1回目の地域停電後、復旧マニュアルを作成しホールスタッフへ周知したことで、2回目以降の停電後の復旧手順が明確になり迅速に対応することができた。 8/20にサザンスカイタワー八王子の防災訓練に参加し、緊急時の危機管理体制について再確認した。 また、不審者等への対応強化として、受付窓口前にカメラモニターを設置した。 8/27には第11回避難訓練体験コンサートを開催し、272名の市民が訓練に参加した。今年度は開場時間中に、八王子消防署・八王子防火防災協会による展示とVRを含む体験コーナーをホワイエで展開。出演は昨年に引き続き、米国空軍太平洋音楽隊“パシフィック・ショーケース”に協力いただき、演奏中と終演時の2回地震が発生したとの想定で訓練を行った。アンケートでいただいたご意見はスタッフ全員で共有し、今後より一層利用者や来場者が安全で安心してご利用いただけるホール運営に努める。	B		11/1、昨年度に引き続き、EV･ES緊急停止時救出訓練を行った。EVで閉じ込めが発生した場合の救出方法や、ESの緊急停止方法などを再確認した。 11/15、東京都帰宅困難者対策オペレーションシステム（キタコンDX）操作説明会にリモート参加した。市民会館は帰宅困難者の一時滞在施設となっていることから、テストサイトでの事例演習にも積極的に参加した。 また、1月には第11回避難訓練体験コンサート報告会の実施を予定。今後の課題等を検討する。	A	災害や事故など、有事を想定した訓練を行っている。避難訓練体験コンサートでは、実施後、関係機関を交え振り返りを行うなど、危機管理意識を高めている。指定管理者の積極的な取り組みを評価したい。	【事故等への対応を適正に行うとともに、災害発生時に備え体制を整えた】 （第四四半期実績） 1/6に早稲田大学人間科学部佐野研究室と東北工業大学ライフデザイン学部畠山研究室による、第11回避難訓練体験コンサート報告会を実施した。（市役所1名、八王子消防署1名、防災センター3名、財団1名、共立2名、ホールスタッフ4名、維持管理1名参加）お客様がより安全に安心して避難ができるよう、今後の課題や改善策について検討した。引き続き非常時に備え各スタッフの熟練度の向上に努める。 また、2/17の清掃スタッフ一次対応研修の際、機械室漏水時の対応方法の説明を行った。

期末総合評価	**B**
所管課コメント	【施設の管理・運営を安定して行うことができるか】 有資格者の配置、職員への各種研修の実施、指定管理業務に係る経理など、いずれも適切に行われている。指定管理者のノウハウを活かし、設備機器の更新や改修について保全計画を策定し市に提案するなど、安定的な施設運営に向けた取り組みがなされている。 【施設の運営において公共性、公平性、公正性が図られているか】 設備・備品の点検や修繕は適切に行われており、施設の美観が保たれ、快適に利用できる環境が整えられている。 【施設のサービス向上、利用者の増加等を図る方策が図られているか】 利用者数は、前年度より約1万3千人増加し、目標を上回った。自主事業は、実施方法や内容を工夫して改善を加え、多くの参加者数を得ており、参加者の満足度も高い。施設の利用者満足度も高い水準にあり評価できる。 【事業の達成目標が明確で、具体的な事業計画に基づいて事業が行なわれているか】 施設の稼働率（利用率）は、96.7%と昨年度から4.4%増加し、目標を上回った。 【個人情報保護管理及び危機管理が図られているか】 個人情報の管理は適切になされており、また、危機管理についても高い意識を持って管理運営業務に臨んでいる。 【総括】 指定管理者が持つ知識、スキル、ネットワークを活かして、八王子市民会館がより魅力的な施設となるよう全般的によく取り組まれている。市や関係機関との連携も図られており、ソフト面、ハード面のいずれにおいても、適切に管理運営がなされている。引き続き、市民が快適に、質の高い文化芸術に触れることができる場として、また文化芸術活動の成果を披露する場として、本市の文化芸術の振興につながる取組を期待したい。